

絵画指導における教材開発

青柳三郎*

第I章

義務教育における絵画指導で、子供たちには表現意欲がありながら、造形性を刺激する適切な教材が与えられないために消極的な表現で終始することがある。本論は、この問題を解決するための対策を例示するものである。

これまで、教員を志向する全ての学生を対象に1年間ではあるが、①教材開発の在り方を学ばせ、②学生自らの描写力を養うことの2点を目標に開発を進めてきた。ささやかではあるが著者作成の例題と、学生の作品の一部を掲載する次第である。

教師が体得しなければならない絵画表現における基本的な描写内容には、①立体的表現、②動勢表現、③線描表現、④造形的秩序……等である。今回は特に動勢表現について記述したい。動勢表現一つを取り上げても、段階的に造形的興味を持たせて指導していくと、学生の表現力は極めて高まるように思われる。春にはばらばらな線描で表現していたが、学習を積む度に意思の定まった続き線で表現出来る学生が多くなっている。

将来を担う学生自身が楽しく表現する術を身に付け、自信をもって指導に当たることを期待するものである。

第II章 絵画指導における教材開発例

教材例と学生の作品例を掲載した。紙面の都合上、解説文を省略した。例文や、作品等を御覧になって、教材の意味を解読して頂ければ幸いである。

〔例題1〕 動勢表現を促す教材I

下記のテーマを読んで、ポーズを想定し黒色ペン（ボールペンでもよい）で線描しなさい。顔の表情は省略し、その代わり身体全体の動勢が感じられるようにポーズを強調するとよい。

1. 「人間起重機（仮称）」 大人が、幼児を頭上に持ち上げている場面。
2. 「肩車」 肩車をしている人の上半身より上をかく。
3. 「人間天秤（仮称）」 大人が両腕に幼児をぶらさげている場面。
4. 「スタート（クラウチングスタイル）」
5. 「人間回旋塔（仮称）」 大人が両手に幼児の手を握って、回旋塔が回るように振り回している場面。
6. 「腕相模」 実際にモデルを使ってもよい。かき易い視点からかく。
7. 3人が後ろ向きに腕を繋いで立っているポーズ。（実際にモデルを使ってもよい）
8. 「大相撲」 取り組みの様子。

* 新潟大学教育学部

9. 「片手で顔を支えているポーズ。片手が顔に触れているポーズ」 このようなポーズをとることにより、顔の表情にも特異さが出る。このテーマはモデルを實際使ってかく。

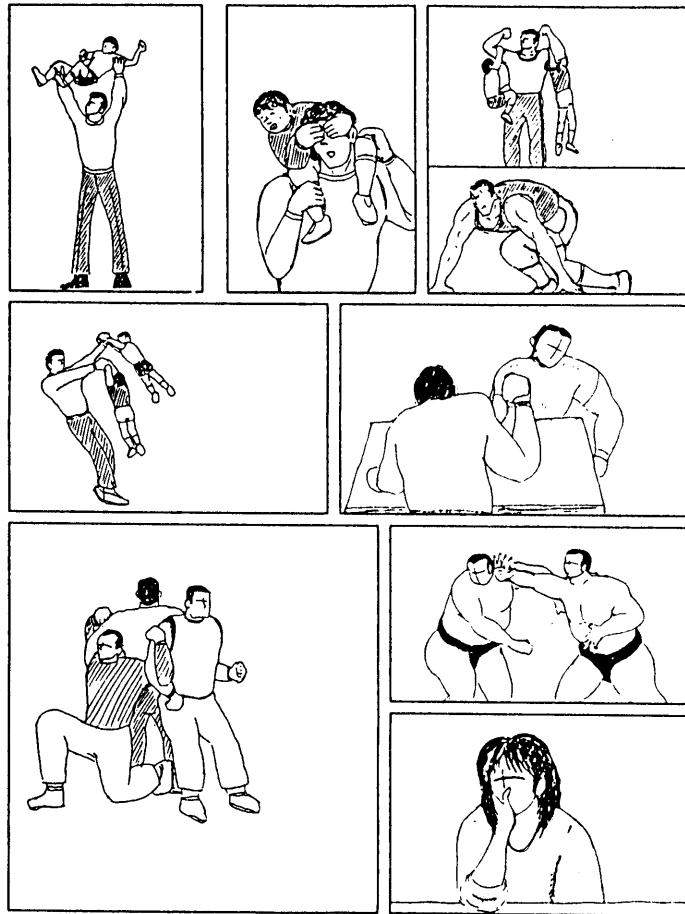


図 1

〔例題2〕 動勢表現を促す教材Ⅱ

次の課題は、人物の動勢を表現目標に設定したものです。それぞれのテーマにしたがって下の画面に線描しなさい。人物の動勢を表現するために、人物を外見的、写真的にとらえるのではなく、先ずその動きの勢いを誇張したり変形、強調し、顔の目鼻等の細かい部分を省略し、身体全体の動きを大胆に表現すると良いのです。線はなるべく続け、細切れにならないようにするとよい。黒色各種鉛筆を使用しなさい。

1. 一人の子供が跳び箱で開脚跳びをしている動勢
2. 二人の子供が馬跳びをしている動勢
3. 運梯をする一人の子供が、動勢ある演技をしている動勢
4. あなたが馬になって幼児を背中に乗せて遊んでいる様子

5. 次にあげるスポーツ選手1人が動勢の感じられる演技をしているポーズ。①バレリーナ、②鉄棒・平行棒・徒手体操・釣り輪・平均台・トランポリン・新体操。
6. カメラの前に手や顔を伸ばした人物の全身像を想定し、短縮法により表現。
7. 劇画等で短縮法の手法を使ってかいた人物を思い出して。
8. 道路工事をしている一人の動勢。

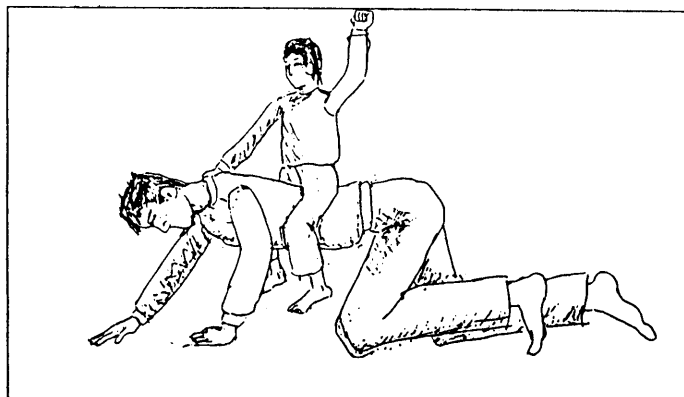


図 2

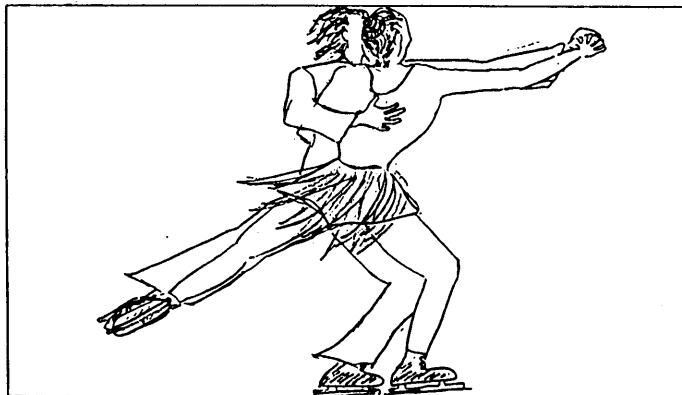


図 3



図 4

〔例題3〕 動勢表現を促す教材Ⅲ

1. 下には、四角の画面が5つあり、その一つ一つにボールが1個づつかいてあります。各画面毎にボールを持つか触って運動をしている人のポーズを線描しなさい。どの画面にも、身体が画面一杯になる構図を取りなさい。ここでは、身体全体の流れを強調するために、頭部を小さくするとよい。
2. 「動きのある人たち」
下の図には、曲線が5本かいてあります。1本の曲線から動勢の表れた人物1人をイメージ化しなさい。同じ方法により、5人全員に動勢が感じられるように表現しなさい。ここでは、身体全体の流れを強調するため、頭部を小さくすると良いし、膨らみのある衣服にすることを避けるとよい。
3. 「7人が手を繋いで輪になり、ダンスをしている」又は「輪になって盆踊りをしている様子」を想定して表現しなさい。視覚的、写實的、装飾的、展開図的等と自由に表現しなさい。
4. 「私の旗」を色紙で表現しなさい。自分の旗として何か意味すること意図することを象徴してデザイン化するとよい。あまり複雑でなく、覚え易くいつまでも印象として記憶されるものがよい。
5. 「上品な髪型」「変わった髪型」をそれぞれ下の2つの画面に、黒色各種鉛筆で濃淡も付けて表現しなさい。顔の表情は省略してみなさい。
6. 「奇抜な服装(着物)」を下の画面に、黒色各種鉛筆で濃淡も付けて表現しなさい。顔の表情は省略してみなさい。
7. 「珍しい、変わった、面白い、美しい、怖い等と人の表情を10態、下の10の画面にそれぞれ黒色各種鉛筆で線描しなさい。
8. 下の画面にコンパスを使ったり、フリーハンド等で円を適当数構成し、黒色各種鉛筆で濃淡や柄等を付け、きれいなデザイン作品にしなさい。円は重なっても画面からはみ出すことがあってもか

まいません。

9. 「自分と友達が飛行機や鳥（空に浮くものだったら何でもよい）に引っ張ってもらったり、上に乗ったりして空を飛んだとしたら」と相像して、思い付く自分のイメージで表現しなさい。黒色各種鉛筆で濃淡も付けなさい。



図 5



図 6

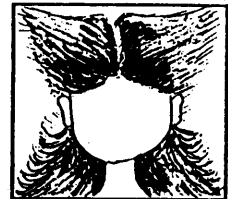


図 7

〔例題 4〕 動勢表現を促す教材Ⅳ

小学校 6 年生に下記のテーマで絵をかかせたいと思う。どのように表現すると思うか。次のテーマを、黒色各種鉛筆で絵画表現をしなさい。所用時間は 60 分。

1. 「鬼と小人」 怖い表情と強そうな感じをした身体の大きい鬼の動勢を表現させたい。小人が槍や弓等の武器で鬼を攻めている情景を想定して描写させたい。場面に奥行を持たせるために、逃げ惑う他の鬼を点景に配置させたい。
2. 「私の先生と友達たち」 クラスの先生が主役的に、クラスメートが脇役的になるような場面に構成させたい。先生と子供たちが何をしているかが分かるように表現させたい。
3. 「力士と幼児」 力士 1 人（裸姿にまわしを付け、まげを結っている大きな力士）に 5 人の子供が相撲をしている場面を想像させたい。人物に動勢が感じられるようにさせ、丸い土俵や見物客も補助的にかかせたい。
4. 「ジャングル探検」 探検家がジャングルを探検し珍しいこと怖いこと等を経験したと想像して、その内容を物語風に 4 コマで表現させたい。コマに番号や文字を書き込んでもよいことにする。探検家の服装や動植物等を工夫させたい。



図 8

5. 「コマーシャルの絵」 子供自身が考案するテレビのコマーシャルの絵を4コマに作成させたい。コマーシャルの図柄は主題が明確で、訴求力があるようにさせたい。コマに番号や文字を書き込んでもよい。
6. 「あなたがしてみたい遊び」 子供がしてみたい遊びを物語風に4コマで表現させたい。コマに番号や文字を書き込んでもよい。



図9

〔例題5〕 筆順を変える教材

友達をモデルにして、次の条件で線描しなさい。

- ① 先ず頭からかき始め、次に足元からかき進め、最後に胴の部分で線を連結しなさい。（この技法は、何時もかいている筆順を変え、新鮮な態度で集中的に表現させるための手段の1例である。）
- ② 黒色各種鉛筆で、続き線で表現しなさい。

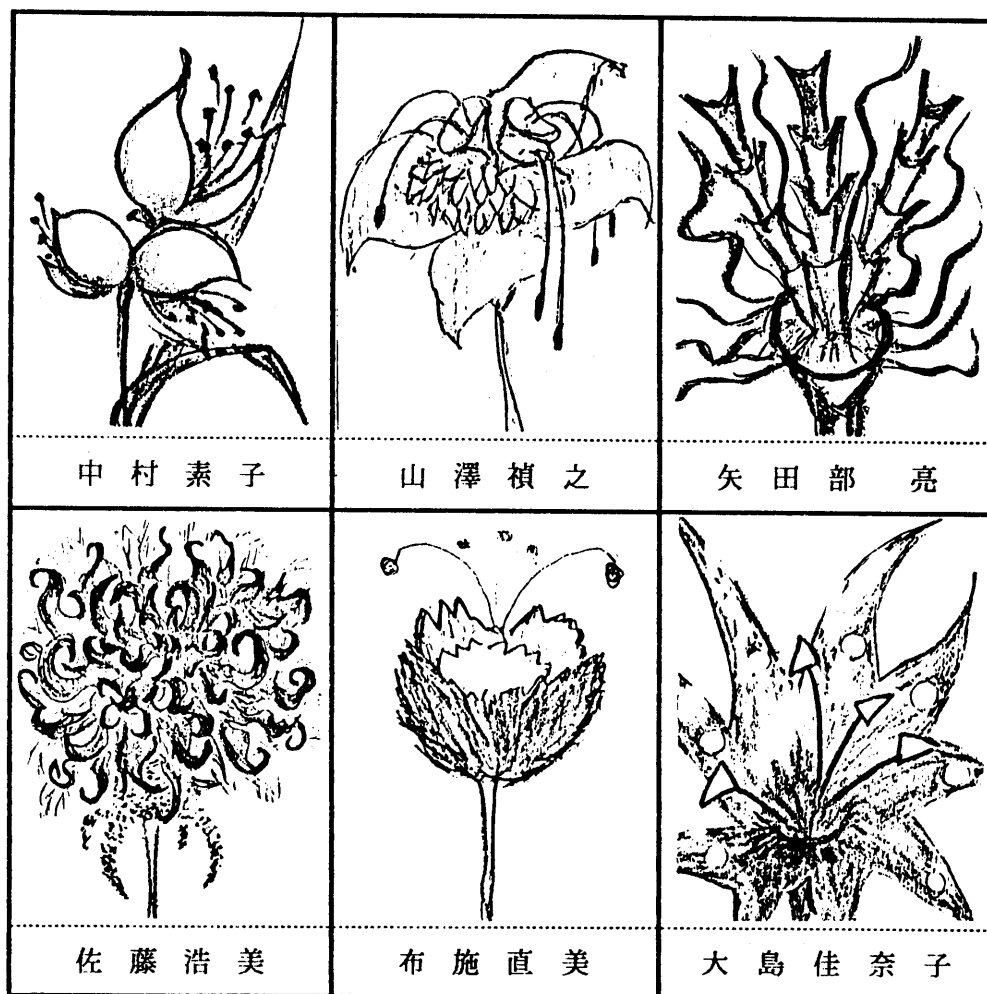


図10

〔例題6〕 空想力を促す教材

「空想上の花を一人ひとりが違ってかこう」

6人編成の班を作り、次の例題を黒色各種鉛筆で表現しなさい。線描だけでなく明暗や濃淡もつけて丁寧に仕上げてください。先ず最初の人が一画面に花を一輪かきなさい。かいたら次の人に巡回し次々に前の人と違った花をかいて6つの画面を完成しなさい。前の人の花と違った空想上の花をかくことをねらいとします。画面毎に作者名を記入してください。



〔例題7〕 リズムを表現させる教材

身近に見られるリズムカルな対象をモチーフとし、次の手順にしたがって、リズムカルな表現を色紙により制作しなさい。

1. 身近に見られるもので、リズム感が顕著に伺われる対象を列挙しなさい。

〔例〕

- (1) 自然現象より ①波紋や砂丘の風紋 ②樹林 ③並木 ④渦巻き・竜巻き ⑤発光現象・降

- 雪状況・雨降りの状況 ⑥海原の波のうねり ⑦雲の状態 ⑧暴風雨 ⑨稲妻 ⑩虹 ⑪並木
- (2) 動植物や昆虫の形状より ①1単位の形状に着目する場合と、多数の配列配置に着目する場合 ②動植物1単位の部分のリズミカルな模様(葉脈、羽、翼、皮) ③動物・魚類の骨格 ④多数の昆虫や動物、植物等のリズミカルな配列配置 ⑤かたつむりの殻や貝殻 ⑥蝶の吻管等のように管状のもの ⑦果物や野菜の実や、実の葉の付いている形態 ⑧果物や野菜の実を輪ざりにした形態 ⑨動植物等の生物の群れや群生
- (3) 機械機器の部分 ①工場の機械や動力機械の部分 ②工具の部分 ③自動車や自転車等の乗り物の部分 ④医療器具や視聴覚器具 ⑤体育用遊具等の器具類の部分 ⑥理科の実験器具 ⑦ピアノの鍵盤やピアノ線等のような楽器の部分
- (4) 人工的な建造物(人工物)等 ①林立するビル・家並み・並木・生け垣 ②石段や階段・螺旋階段・寺院の塔、石垣 ③蛇腹のカーテン ④ブラインド ⑤木目 ⑥噴水の状態 ⑦花畑・水田 ⑧送電線・電柱 ⑨線路 ⑩インターチェンジ ⑪花火の模様
- (5) 拡大鏡を通して 微生物や微小物を顕微鏡や拡大鏡で拡大してリズミカルな形態を発見する。(想定しても良い)
2. リズミカルな造形的内容が感受され、自分が一番表現してみたい対象を選択し、スケッチしなさい。
- ① 題名 []
- ② 下図に表現対象を黒色各種鉛筆により、形体のリズムに着目してスケッチしなさい。
- ③ 実物を見ながらでも良いし、見ないで想像してかいても良い。
- ④ 画面は縦向きでも良いし横向きでも良い。
- ⑤ 画面の大きさは、色紙1枚の大きさ(B6)としなさい。
3. スケッチを基に、リズミカルな感じが強く出るように造形的工夫を施し、創作しなさい。
- (1) 形の構成
- 図1にはスケッチの構成図を見て、もっとリズミカルにするため各自の造形感覚で整理し創作を加えなさい。黒色各種鉛筆と定規やコンパスを使って、彩色の明度差に着目してリズミカルな構成を試みなさい。
- ① 創作を加えるとしても、全く抽象化するのではなく、ある程度形体が理解されるものとする。
- ② 面の明るさの度合いや、線の太さ、点の大きさ等にも違いがあることに着目すると良い。
- (2) 色による構成
- 図2には、図1で創った黒色各種鉛筆による無彩色の構成図通りに色紙を貼り、完成作品を作ります。先ず図1の無彩色の構成図を見て、線や面の明度差の違いを調べなさい。次に、各自の主題に合う色紙の同類色を2-3色程度選びなさい。最後に図1の構成図の明度と、色紙の明度を合わせながら配色し作品を完成しなさい。
- ① 地の色は画面の白のままに残してもよい。
- ② 色紙は、有彩色や無彩色を利用して良い。
- ③ 色数が多くなって、装飾過剰にならないようにすると良い。

- ④ 主題となるリズムを生み出す形体を目立たせると良い。

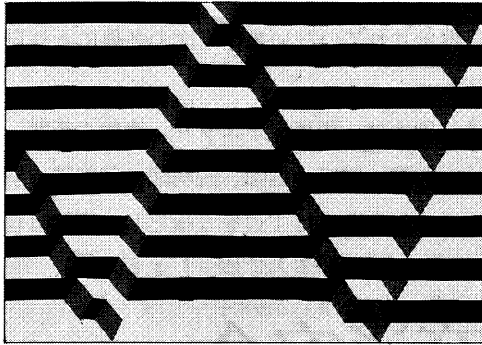


図11

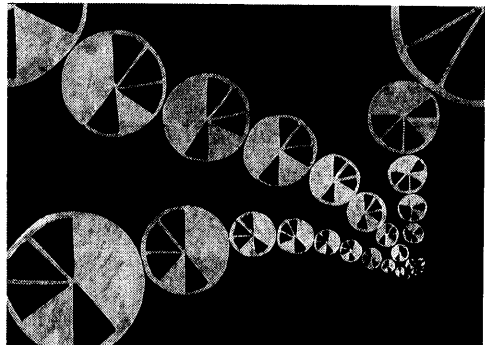


図12

〔例題8〕 感情色でデザイン化する教材

色彩の性質の1つに、感情色があります。感情色を拠り所として、次の例題を色紙で表現しなさい。
過去、現在、未来を問わず、あなた自身が体験したこと（体験していること、体験するだろうこと）の中から一番印象に残ることを、次の条件を参考にして色紙で表現しなさい。

〔条件〕

1. 抽象的デザインを作成する。模様の、装飾的になってもよいが、形が具体的でない方がよい。
2. 主題が良く分かるように表現する。
例えば、①形や色を統一して、大小の変化を付ける。②形の主役を大きくし脇役を小さくする。
③形や色を同じぐらいにし、繰り返す。④構成の仕方に造形的文法（バランス、リズム、ハーモニー、コントラスト、強調、アンバランス、統一と変化等）の内どれか1つを利用する。
3. 色紙と鋏、カッター、糊等を用いる。
4. 表現時間は60分とする。

〔例題9〕 モノクローム表現の教材

教育学部の校舎を次の条件によりモノクロームに描写しなさい。

1. 遠景の校舎の感じを出すために、近景に樹や草、窓枠、手すり等を配置したいので、その構図になる場所を選択しなさい。次に、下の画面に黒色各種鉛筆でモノクロームに表現しなさい。
物の面の明暗の変化だけに着目して、白から黒にいたるまでの無彩色段階にわけて表現しなさい。
2. 外から見た校舎の窓のうち、3枚分ほどの箇所を選びなさい。次に、窓の中に見えるものや窓に映るものなどをよく観察して、下の画面に黒色各種鉛筆でモノクロームに表現しなさい。物の面の明暗の変化だけに着目して、白から黒にいたるまでの無彩色段階にわけて表現しなさい。

〔例題10〕 創作文字をつくる教材

下記の文字は、パーソナルワードプロセッサにより代表的な書体を作図したものです。斜線に

むらが出ているので正確さに欠けますが、同一文字でも書体により多種多様な感じになることが理解出来ます。これらは機械が作ったものですが、人の意志で自分の手で作成すれば（例えば字間、太さ、飾り、網抜き、反転等に変化を与え組み合わせを換えることにより）より多くの創作が可能です。

創作文字を作るにあたり、下の作例を参考にしますが、例示されていない書体を次の条件により自由に創作しなさい。

①文字数は4字とする。②用途を考えて文句を決める。例えば、標語、ポスター、書物や新聞・雑誌などの見出し、レコードジャケット、案内図、ちょうかん図、標識、地図、説明図、解剖図、解説図等に使用する伝達のための文句を選定しなさい。③1文字の大きさは1辺を5cmとし、字間は自分で決め下の空欄に横書きに表現しなさい。④描材・用具は黒色各種鉛筆と定規とします。



[資料を制作した学生名]

- | | | | | |
|------|---|---|-----|---|
| 図1 | 北 | 原 | 裕 | 之 |
| 図2 | 松 | 井 | | 剛 |
| 図3 | 千 | 野 | 光 | 仁 |
| 図4 | 名 | 畑 | 由 | 之 |
| 図5・6 | 梶 | 木 | 寿美子 | |
| 図7 | 佐 | 藤 | 浩 | 美 |
| 図8 | 北 | 原 | 裕 | 之 |
| 図9 | 玉 | 木 | 裕 | 子 |
| 図10 | 中 | 村 | | 徹 |
| 図11 | 馬 | 場 | | 歩 |
| 図12 | 樋 | 口 | 純 | 子 |

以上